

	公立	(フリガナ)
学校名	M 小学校	担当者氏名 F 先生

### パターンブロック活用例 1

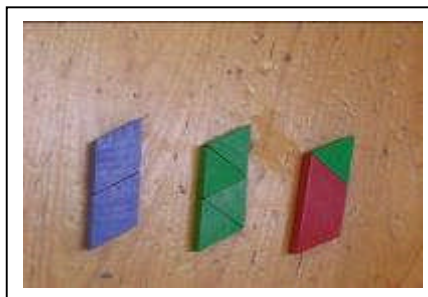
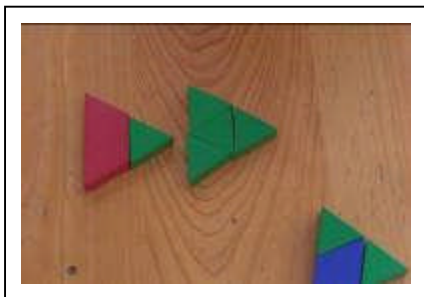
1・2年生 特設単元 「すうじとかたち」 2月の実践  
ねらい

すう字と形を対応させることにより，三角形が形の単位となることに気づかせたり形もすう字で表せることに気づかせたりして，形や数についての理解を深める。

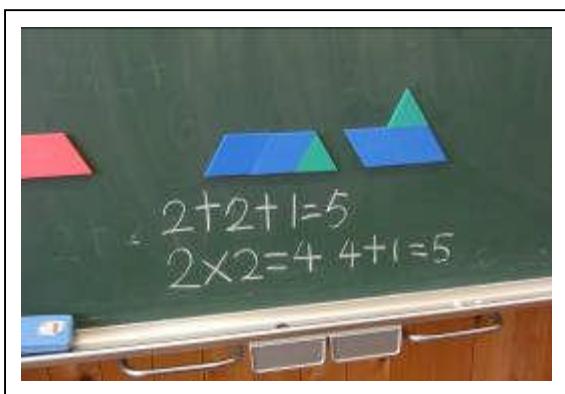
実践の様子

- ・「1の形を1」と決め，2の形，3の形，4の形・・・を作る。  
「1の形を1とします。それでは，2，3，4の形を順番に作ってみましょう。」
- ・2，3，4・・・いろいろなパターンを作っていく。  
方向が違ってても，形は同じであることに気づく。
- ・作った形と，同じ形のブロックをさがす。
- ・だけでなく，他の形のブロックを使って，いろいろな表し方を考える。

例)「4」の場合



- ・8，9，10などの数が大きい場合，いろいろなブロックを組み合わせてつくる。
- ・自分で作った形を式に表して説明する。



児)「私は，5を作りました。2の形を2個と1の形を1個使って作りました。だから，式は $2 + 2 + 1$ になります。」

児)「かけ算をつかってもできます。2の形が2個だから $2 \times 2$ であと1の形が1個だから。 $4 + 1$ になります。」

・式から，どんな形ができるか考える。

例 児)  $6 + 1$  の式の形は，黄色いブロック (6 角形) と緑のブロック (3 角形) の合わさった形だから，下のような形になります。



#### 成果

児童は，とても意欲的に学習に取り組むことができた。1 年生と 2 年生で行ったが，どの学年も，式に表して説明するところまで取り組むことができた。形作りだけでなく，式で表して説明するという，算数の表現の仕方も学ぶことができた。ブロックが，2 人で 1 組使うことができたので，一人一人自分の考えを，ブロックを使って考えることができた。

### パターンブロック活用例 2

図形のしきつめ 3 年生 5 年生

ねらい

三角形や四角形をつかって作図をする前に，敷き詰めをしてイメージをもつ。

実践の様子

- ・ 緑の三角形を使って，隙間なく敷き詰める。
- ・ 同様に，赤い台形のブロック、白と青の平行四辺形でしきつめをする。

#### 成果

児童は，作図の前に敷き詰めをすることにより，イメージを持つことができた。また，4 角形の 4 つの内角の和が  $360$  度であることも敷き詰めることにより，すぐに理解することができた。

### パターンブロック活用例 3

自由にあそぶ 全学年 休み時間

ねらい

図形の感覚を養う

実践の様子

廊下の一画に置いてあるタスクカードとブロックで，いろいろな模様作りに挑戦する。

#### 成果

1 年生から，6 年生まで自分の力に応じて，いろいろなタスクカードに挑戦したり，模様作りをしたりする事ができた。